

第1章 第4次三鷹市基本計画第1次改定に向けた「まちづくりディスカッション」

I 目的

三鷹市は、1973年の全国初となる公共下水道100%整備の達成を目前に控え、次なる重点施策として、1971年にコミュニティ・センター建設構想を策定し、三鷹方式の市民自治を目指すコミュニティづくりが始まった。1978年に策定した三鷹市基本計画の中で、住民協議会を中心とした「コミュニティ・カルテ」の手法を明記し、10年後の地域の将来像を検討する「まちづくりプラン」が住民協議会から提案されるなど、協働のまちづくりは40年以上にわたり三鷹市の基礎的な要素として継続されている。

特に、三鷹市基本構想及び第3次三鷹市基本計画の策定に向け、登録人数375名の全員公募による「みたか市民プラン21会議」と市が「パートナーシップ協定」を締結し、白紙からの市民参加による活動を行った。こうした経過を経て、三鷹市自治基本条例の制定などにもつながり、現在では、パブリックコメント制度の定着や市民会議・審議会等の活性化が図られ「参加と協働の日常化」が進められている。市が第4次三鷹市基本計画（第1次改定）に先駆けて定めた「第4次三鷹市基本計画第1次改定に向けた基本方針・施策論点集」において、基本計画前期期間の成果と検証を踏まえた時点修正的な改定としつつも、多様化し変化する市民のニーズ等を反映するために、市民参加の機会を広く設定するとされた。

この市民参加のなかでも、住民基本台帳から無作為抽出された市民による市民討議会「みたかまちづくりディスカッション」は、2006年に自治基本条例の「パートナーシップ協定」の規定に基づき、三鷹青年会議所と市が協定を締結して、行政が主催者となる形では全国初の開催となった。その後も、基本計画の策定・改定における開催や東京外かく環状道路関連の検討、防災をテーマにした検討など、多岐に渡る分野において、幅広い市民の意見を聞く場として三鷹方式の「まちづくりディスカッション」を活用している。いずれの開催においても、参加市民の高い満足度が数値として示されており、まちづくりに参加したいという機運の向上につながっている。今回の第4次基本計画（第1次改定）においても、「多元的・多層的」な市民参加手法の一つとして、引き続き積極的に取り組むことが示された。

今回の「まちづくりディスカッション」でも、サイレントマジョリティーと言われる少数意見に対しても幅広く耳を傾け、その声を基本計画に反映させることを目的とし、実行委員会形式の運営とすることで、市民の視点に立った討議テーマ等の検討を実施することとした。

II 位置付け

1 第4次基本計画（第1次改定）の期間

第4次基本計画の目標年次は、概ね2022年度とする12年間の計画であり、今回の第1次改定では、2015年度から8年間を対象期間としている。

2 第4次基本計画（第1次改定）における市民参加の取り組み

市では、第4次基本計画（第1次改定）に向けた市民参加として、2015年9月に確定した「骨格案」に対して「多元的・多層的」な市民参加手法を活用して市民の意見を聴取する機会を設けた。

第4次基本計画（第1次改定）における市民参加の手法は、従来の①コミュニティ住区における、市民なら誰でも参加できる「まちづくり懇談会」、②無作為抽出による市民討議会「まちづくりディ

スカッション」、③基本計画に関する講座を開催し、市民への情報提供や意識醸成を図る「三鷹ネットワーク大学による連続講座」、④基本計画の施策の優先度やプロジェクトの重要度等を問う「広報特集号による市民アンケート」、⑤計画の最終案である基本計画素案に対して行う「パブリックコメント」に加え、新たに⑥スマートフォン等のアプリを活用した自由参加型のまち歩き「さんぽキ」、⑦市が主催・後援するイベントの機会を捉え来場者にシール投票をしてもらう「まちづくりひろば」の7つの手法を用い、より「多元的・多層的」な市民参加を実現した。

◆ まちづくり懇談会

第4次基本計画（第1次改定）の骨格案に対して、素案への意見聴取を目的とし、各住区で誰でも参加できる「まちづくり懇談会」を開催した。基本計画（骨格案）の概要及び土地利用総合計画2022、用途地域の見直し方針を説明し、その後説明会方式ではなく、グループでの話し合いを行った。

具体的には、10月から11月の土曜日に7つの住区で開催し、開催時間2時間のうち、1時間を市民同士のグループワークとした。グループワークでは、「地域の未来」をテーマに地区ごとの課題やその解決策を参加市民から意見を出していただき、その進行では、市役所若手職員約20名を中心とした「第4次基本計画第1次改定に向けた市民参加推進チーム」の職員が積極的に市民と対話しながら進めるものであった。

限られた時間の中で、基本計画の説明会ではなく、参加した市民が地域の未来を想像しながら課題や解決策を話し合い、1人の意見に他の参加者が自分の意見を重ね議論していくといった建設的な懇談会となった。

2015年10月3日から11月14日までに7つの住区で開催した結果、合計で122人の市民が参加した。

◆ 広報特集号による市民アンケート

2015年10月11日に広報みたか第4次基本計画第1次改定骨格案特集号が発行・全戸配布された。広報特集号にアンケートを折り込み、第4次基本計画第1次改定のプロジェクトやまち・ひと・しごと創生総合戦略などに関する市民アンケートを行った。

今回のアンケート調査では、2,925通の返信があり、自由記述欄に書かれた意見は1,211件にも及んだ。この数は、4年前の第4次基本計画策定時のアンケートと同数程度であり、依然として、市民の計画等に関する関心の高さを伺える結果となった。これらの意見については、他の市民参加と合わせ、基本計画や個別計画の素案への反映を図るために検討が行われた。

◆ まちづくりディスカッション

第4次三鷹市基本計画第1次改定骨格案に対して、市民参加の経験が無い方でも参加しやすいように、テーマに沿った情報提供を行い、少人数のグループに分かれて話し合いを行う「無作為抽出による市民討議会」として、「みたかまちづくりディスカッション」を開催した。これまで、まちづくりにある程度参加していただいた人や自発的にまちづくりに参加したいと希望する人の参加が比較的多い「まちづくり懇談会」に対して、日常生活の中で市政に対して関心や意見を持ちながらも、市民参加の場に率先して出席する機会がなかった市民にも市政に接する有意義な機会となった。運営にあたっては、NPO法人みたか市民協働ネットワークとパートナーシップ協定を締結し、住民協議会や三鷹商工会青年部、JA東京むさし三鷹地区青壮年部、三鷹青年会議所など市民28人による実行委員会を組織した。今回新たに大学生（杏林大学、国際基督教大学、東京大学）が参加した。

参加者は、住民基本台帳から無作為抽出された1,800人の市民に対して参加依頼を行い、参加を事前承諾した103人のうち83人の市民の方が2日間のプログラムに沿って話し合いを行った。

3 第4次基本計画（第1次改定）までの流れ

第4次基本計画（第1次改定）の取り組みは、平成25年度から始まっており、平成27年度に確定するまで、さまざまな研究・検討を踏まえた取り組みが進められた。

第1次改定までの流れを次に示す。

第4次基本計画第1次改定及び個別計画の改定等の経過

	平成25年度						平成26年度						4月	5月			
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月～9月			10月	11月	12月			1月	2月	3月
概要																	
市民参加・学識参加・職員参加																	

第4次基本計画第1次改定及び個別計画改定の進め方について

基本計画及び個別計画の改定等に向けた調査等の取り組み

各部調査依頼

市長・市議会議員選挙

市長マニフェスト等を反映

・施策の取り組みの方向及び主要事業案に関する調査
 ・最重要・重点プロジェクトに関する調査
 ・個別計画改定等に関する調査

市民会議・審議会による個別計画と第4次基本計画（前期）の達成状況の検証と第4次基本計画改定に向けた提案

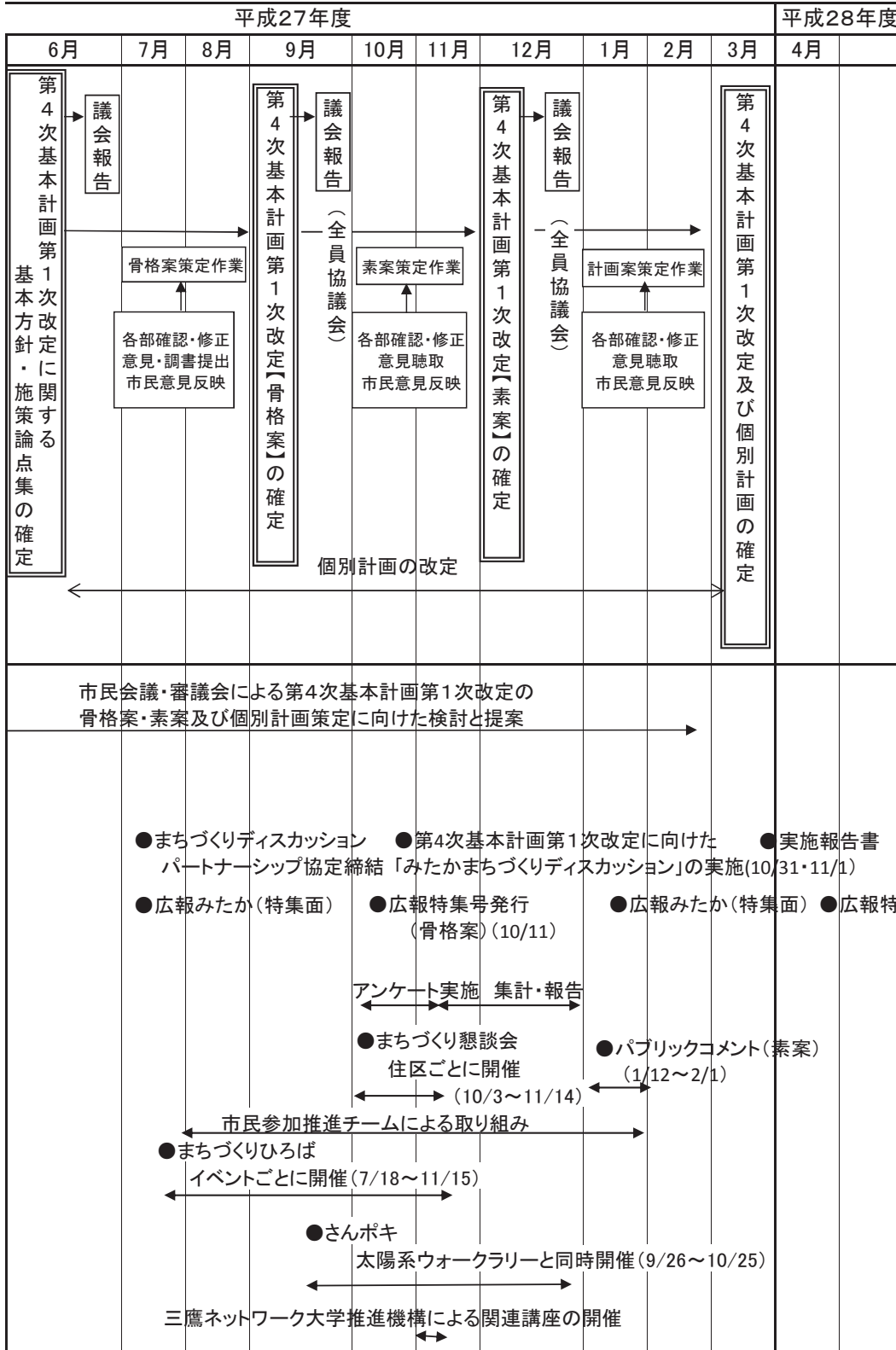
三鷹まちづくり総合研究所
 持続可能な都市経営と基本計画改定等の将来課題に関する研究会

計量経済モデルによる三鷹市経済の長期予測の実施

市民意向調査の実施

●発行 三鷹を考える論点データ集

●発行 三鷹を考える基礎用語事典(web版)



Ⅲ 本番当日のスケジュール

1 スケジュール

1日目

【第1日目】平成27年10月31日(土) 午後1時～午後5時		
13:00～13:50	50分	主催者あいさつ まちづくりディスカッションの趣旨説明(ルール説明) など
13:50～14:20	30分	【情報提供①】三鷹市の現状について(平山企画経営課長)
14:20～14:35	15分	各テーマの会議室へ移動・休憩
14:35～15:05	30分	【情報提供②】各テーマの行政からの情報提供
15:05～15:25	20分	話し合いの進め方の説明
15:25～16:25	60分	第1回 話し合い
16:25～16:45	20分	第1回 話し合いの発表と投票
16:45～17:00	15分	結果発表と明日に向けての事務連絡
17:00～17:30	30分	交流会(自由参加) *ご都合のつく方は、ぜひ交流会にご参加ください。



2日目

【第2日目】平成27年11月1日(日) 午前10時～午後5時		
10:00～10:30	30分	【情報提供③】各テーマの有識者からの情報提供
10:30～11:30	60分	第2回 話し合い
11:30～12:00	30分	第2回 話し合いの発表・投票
12:00～13:00	60分	昼食
13:00～14:00	60分	第3回 話し合い
14:00～14:30	30分	第3回 話し合いの発表・投票
14:30～14:45	15分	休憩
14:45～15:45	60分	第4回 話し合い
15:45～16:15	30分	第4回 話し合いの発表・投票
16:15～16:30	15分	休憩と会場移動
16:30～16:50	20分	各テーマの概括と今後の日程等について
16:50～17:00	10分	閉会あいさつ

2 第4次基本計画第1次改定 まちづくりディスカッションテーマ割表

13:40 }	第4次三鷹市基本計画第1次改定に向けた三鷹市の現状認識と取り組みの方向について 【情報提供者:三鷹市/企画経営課長】		
14:10			
テーマ	A、新川防災公園・多機能複合施設(仮称)を拠点とした地域の元気を創造するまちづくり	B、活力と魅力のあるまちづくり	C、これからの地域福祉と、人と人が支えあうまちづくり
1日目			
14:35	「三鷹市の現状」 新川防災公園・多機能複合施設(仮称)の活用 【企画部都市再生担当部長】	「三鷹市の現状」 市内大規模土地利用転換の現状と今後の展望 【都市整備部まちづくり推進課長】	「三鷹市の現状」 三鷹市の地域福祉施策と今後の展望 【健康福祉部長】
15:05			
15:15	「生涯学習」、「保健・福祉」、「スポーツ」などは、どこで、どのように利用していますか？	「活力と魅力のあるまち」とは、どのようなまちでしょうか？	普段の生活の中で、地域やご近所での活動など、人とのつながりが必要であると思う時や場面をあげてください。
16:15			
2日目			
10:00	東京大学 牧野篤先生	多摩信用金庫 長島剛氏	ルーテル学院大学 和田敏明先生
10:30			
10:30	複合施設のメリットを生かしたサービスは、どのようなものが良いと思いますか？	杏林大学井の頭キャンパスの開設が予定されています。市民として、どのようなつながりを期待しますか？	子どもから高齢者までの世代が、いきいきと生活するまちとは、どのようなまちをイメージしますか？
11:30	↓	↓	↓
13:00	小テーマ②で話したアイデアを複合施設内で実現するためには、どんな工夫が必要ですか？	三鷹駅前空間が魅力的でにぎわう場所とするためには、どのような再開発になったらいいですか？	地域やご近所で小テーマ②を実現するためには、どのようなことをしていくと良いと思いますか？
14:00	↓	↓	↓
14:45	基本計画に折り込んだ方が良いと思うアイデアをまとめてください。	小テーマ②と小テーマ③で話したアイデアを実現するために、基本計画に折り込んだ方がよいと思うアイデアをまとめてください。	基本計画に折り込んだ方が良いと思うアイデアをまとめてください。
15:45			